

岸和田市内水ハザードマップの作成概要

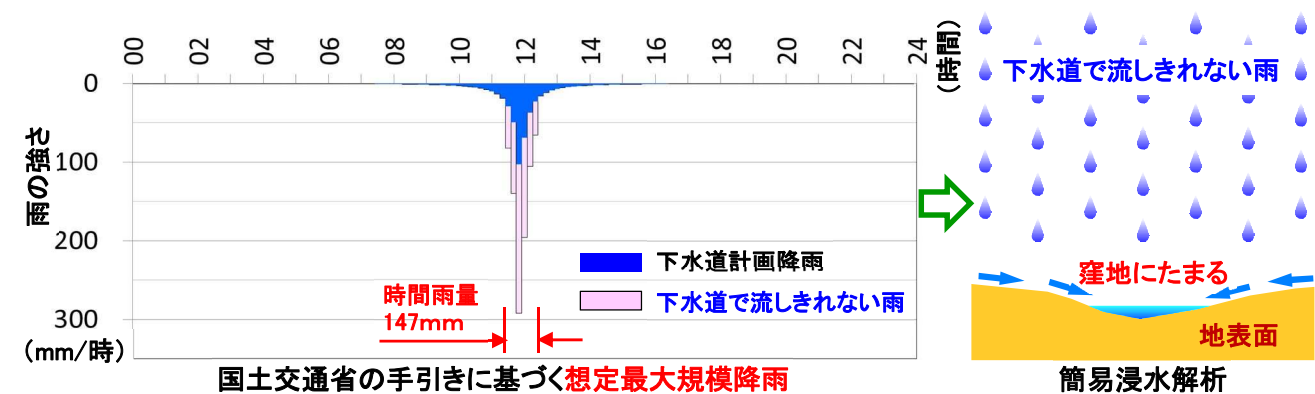
1. 目的

岸和田市では、内水による浸水被害を軽減するためのソフト対策及び浸水状況と避難方法等の情報を、市民にわかりやすく提供するために「内水ハザードマップ」を作成しました。



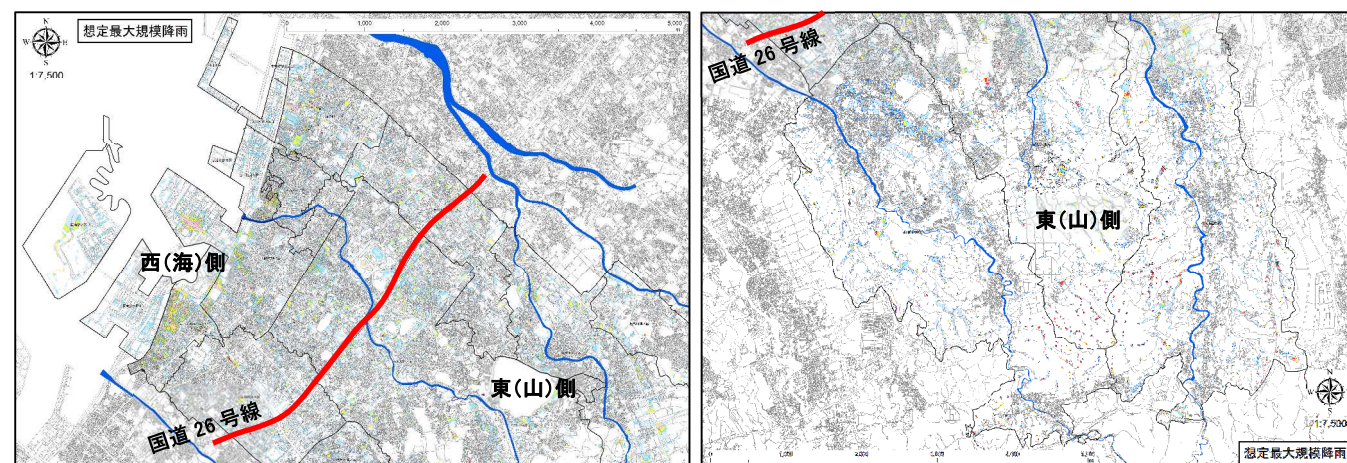
2. 地形情報による簡易浸水解析

浸水想定区域図の作成のため、国土交通省の「内水浸水想定区域図作成の手引き」に基づき、下水道計画降雨（時間雨量 51.7mm）を引伸した「想定最大規模降雨」（時間雨量 147mm）を想定し、そのうち「下水道施設で流しきれない雨が地表面を流れ窪地にたまる」と想定した簡易浸水解析を行いました。また、解析の前提条件として、河川の水位や都市下水路は考慮しておりませんが、下水道の整備状況から国道 26 号線より西（海）側については簡易的に下水道施設の考慮を行いました。



3. 浸水想定区域図の作成

簡易浸水解析に基づき、想定最大規模降雨において浸水が想定される箇所とその想定浸水深を算定し、浸水想定区域図を作成しました。



国道 26 号線より西(海)側: 下水道で流しきれない雨 (下水道を考慮した降雨) 下水道計画降雨

国道 26 号線より東(山)側: 下水道で流しきれない雨 (想定最大規模降雨) 下水道計画降雨

浸水想定区域図: 想定最大規模降雨

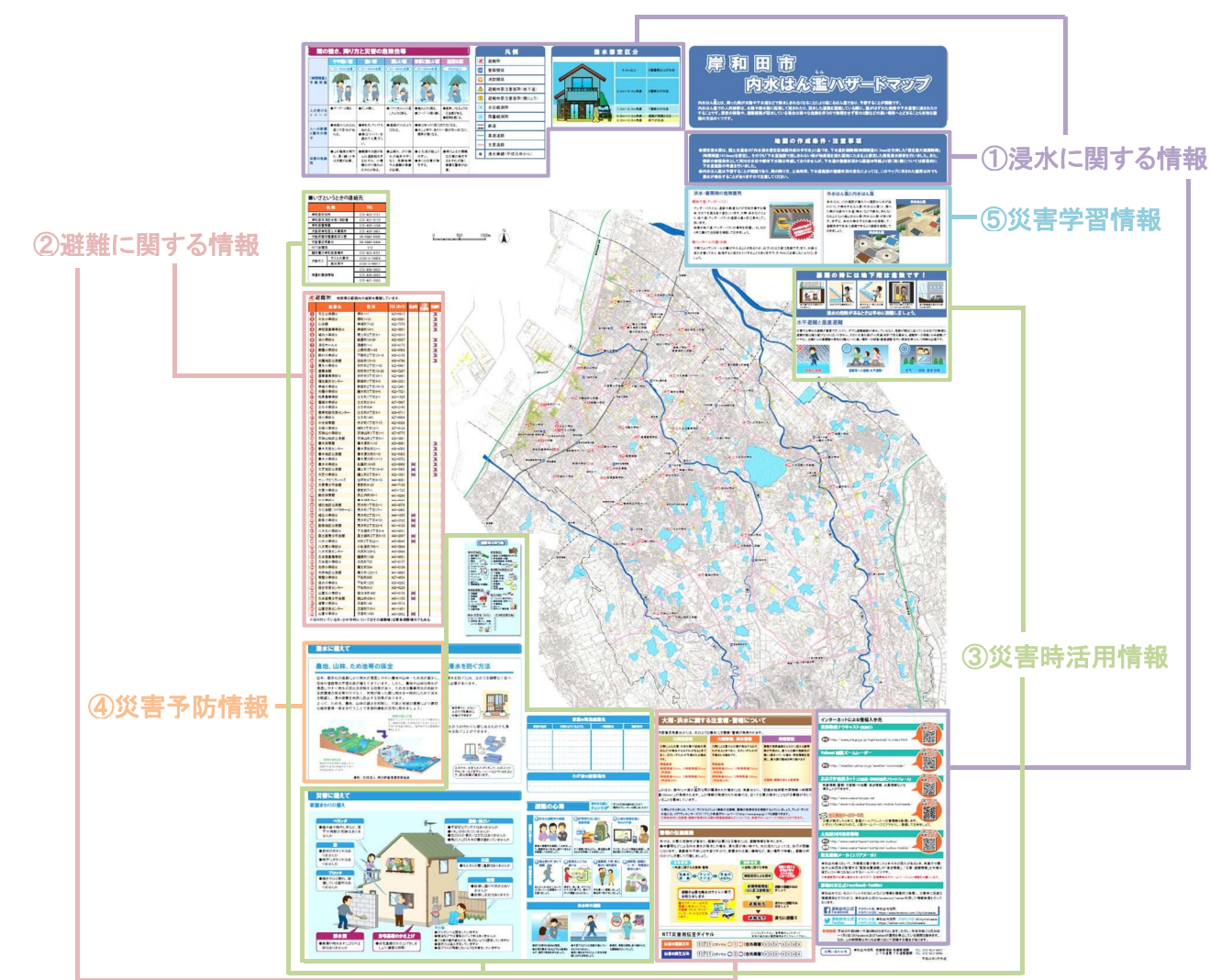
4. 避難方法等の情報の検討・作成

内水ハザードマップに掲載する情報として以下の項目を検討・整理しました。

- ①浸水に関する情報（地図の作成条件、浸水範囲、浸水深、気象・防災情報等の入手先）
- ②避難に関する情報（避難場所、避難時危険箇所、洪水予報・避難情報の伝達方法等）
- ③災害時活用情報（浸水実績、公的機関の連絡先、避難の心得、簡易な浸水防除方法等）
- ④災害予防情報（農地、山林、ため池等の保全等）
- ⑤災害学習情報（水害の発生形態、洪水・豪雨時の危険箇所等）

5. 内水ハザードマップの作成

浸水想定区域図及び避難方法等の情報を記載した内水ハザードマップを作成しました。一般的に床上浸水に気をつけなければならない浸水深は 45cm 以上（建築基準法第 22 条：床の高さは、直下の地面からその床の上面まで 45cm 以上とすること）であり、想定浸水深の着色は緑以上となります。しかし、内水氾濫は予想が困難であるため想定浸水深の着色が黄色についても注意が必要であり、建物や降雨状況によっては床上浸水が発生する恐れがあります。



岸和田市の内水ハザードマップ